

明治三十三年五月八日通信省認可

# 縣報 第六號

明治三十三年六月四日 和歌山縣

## ○縣令

○和歌山縣令第四十三號

掃除巡視服務規律別冊ノ通り相定ム

明治三十三年五月廿三日

和歌山縣知事

小倉

久

(別冊)

### 掃除巡視服務規律

【第一條】掃除巡視ハ法律命令ニ從ヒ嚴正忠實ニ其ノ職務ヲ盡スヘシ

第二條 掃除巡視ハ上司ノ指揮命令ハ之ヲ嚴守シ決シテ違背スヘカラス

第三條 掃除巡視ハ職務ノ内外ヲ問ハス廉耻ヲ重シ食汚ノ所爲アルヘカラス

第四條 掃除巡視ハ職務上ニ關シ上司ニ申告スルトキハ誠實ヲ旨トシ毫モ虛飾スル如キコトアルヘカラス

第五條 掃除巡視ハ人民ニ對シ言語動作ヲ謹ミ柔和懇切ヲ旨トシ尙モ威權ヲ弄シ粗暴ノ行爲アルヘカラス

第六條 掃除巡視ハ服務中姿勢ヲ正シ漫ニ人家ニ立寄り又ハ休憩若ハ飲食シ醉態ヲ現ハス等ノ所爲アルヘカラス

第七條 掃除巡視ハ部民ヨリ猥リニ金錢物品ヲ借入レ或ハ物品ヲ購入シ其代價ヲ拂ハス又

第廿八條 政事上又ハ公ノ選舉ニ干與シ或ハ公事訴訟ニ關係シ若ハ他人ノ業務行爲ニ關シ周旋紹介ヲナスハカラス

第九條 上司ノ許可ナクシテ其ノ職務ニ關シ人民ヨリ慰勞又ハ謝儀若ハ何等ノ名稱ヲ以テ

第十條 上司ノ許可ナクシテ擅ニ職務ヲ離レ及居住地外へ出ルコトヲ得ス

第十一條 上司ノ許可ヲ得ルニアラサレハ直接間接ヲ問ハス商業ヲ營ムコトヲ得ス

第十二條 上司ノ許可ヲ得ルニアラサレハ職務ノ外ニ給料ヲ得テ他ノ業務ニ従事スルコト

第十三條 職務中ハ必ス職服ヲ着用シ姿勢禮式ヲ嚴正ニス

和歌縣令第四十四號

本年內務省令第十八號形像取締規則ニ依リ當廳ニ差出スヘキ形像ノ建設、移轉、改造又ハ除却ノ許可申請書ハ所轄警察官署ヲ經由スヘシ

明治三十三年五月二十五日

和歌山縣令第四十五號

河物掃除法施行細則別冊ノ通り定ム

明治三十三年五月廿六日

和歌山縣知事 小 倉 久

和歌山縣知事 小 倉 久

和歌山縣知事 小 倉 久

和歌山縣知事 小 倉 久

和歌山縣知事 小 倉 久

(別冊)

汚物掃除法施行細則

第一條 市ハ左記各號ニ依リ汚物ヲ掃除スベシ

一 公共溝渠ハ毎年二回以上浚渫スベシ但塵芥等ハ時々掃除スベシ

二 公共便所ハ每週二回以上汲取り其ノ内外ヲ洗滌シ清潔ヲ保持スベシ

三 掃除義務者ノ蒐集シタル汚物ハ戸口稠密ナル地區ニ在テハ毎日一回其ノ他ノ地區ニ在

テハ二日乃至十日間ニ一回以上各戸ヨリ搬出スベシ但其ノ他區及回数ハ市ニ於テ之ヲ

定メ知事ノ認可ヲ受クベシ

前各號ノ外市ノ義務ニ屬スル場所ヲ掃除シ清潔ヲ保持スベシ

第二條 市内ノ土地ノ占有者ハ地域内ノ汚物ヲ左記各號ニ依リ掃除スベシ

一 地域内ノ塵芥ハ日々掃除シ清潔ヲ保持スベシ

二 家屋内ハ毎年一回以上大掃除ヲ爲シ天井裏竝床下ノ塵芥ヲ除去スベシ

三 溝渠ハ市ニ於テ指示シタル期日内ニ浚渫スベシ

四 便所ハ人家稠密ナル地區ニ在テハ毎月三回以上其ノ他ノ地區ニ在テハ一回以上汲取り

其ノ周圍ヲ清潔ニスベシ

五 宿屋業飲食店劇碼諸工場諸製造所職工寄宿寄席觀覽場及數家共用ノ便所ハ每週二

回以上汲取り其ノ周圍ヲ清潔ニスベシ

六 戸々稠密ナル地區ニ在テハ汚物ヲ貯溜スベカラス但肥料ノ爲貯溜セントスルモノハ人

家遠隔ノ地ニ搬出スベシ

第三條 汚物運搬器ハ相當勾配ヲ附シタル覆蓋ヲ設ケ内外全部、コールタールシテ塗布スヘ

第四條 掃除義務者ノ備フヘキ塵芥容器ハ覆蓋アル汚泥容器ハ漏泄セサル堅牢ナルモノヲ

作リ使用前掃除監視吏員ノ検査ヲ受クヘシ

第五條 市ニ於テ設置スル汚物焼却場ハ左記各號ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

一 位置、敷地、坪數、

二 地形、地程、地目、所有者住所氏名

三 設計、圖面、及其ノ工費豫算

四 最近人家ノ距離

五 起工竣竣工ノ期日

第六條 汚物掃除法施行規則第四條第二項ニヨリ別段ノ施設ヲナサントスルモノハ左記各

號ヲ具シ市長ノ許可ヲ受クヘシ其改修ノトキ亦同シ

一 位置、圖面及設計

二 最近人家ノ距離

三 使用ノ方法

四 起工竣竣工ノ期日

工事落成シタルトキハ市長ニ届出検査ヲ受クヘシ其検査ヲ受クルニアラザレハ使用スル

コトヲ得ス

使用ヲ廢止シタルトキハ其旨市長ニ届出ツヘシ

第七條 汚物掃除法施行規則第四條第三項ニ依リ公共溝渠ニ排泄スルヲ許サ、ル汚水ハ別ニ之ヲ定ム

第八條 市ハ公共溝渠ヲ築造セントスルトキハ實測圖面ニ其設計工費豫算及起工並竣工ノ期限ヲ定メ知事ノ認可ヲ受クヘシ其改廢セントスルトキ亦同シ

第九條 市内ノ建物ノ所有者並建物ナキ土地ノ所有者ニシテ其地域内ニ溝渠ヲ築造セタルトキハ掃除監視吏員ニ申告シ檢査ヲ受クヘシ

第十條 公共溝渠ニ沿フタル土地ニ公共溝渠ニ害ヲ及ボスヘキ虞アル行爲ヲ爲サントスル者ハ豫メ市長ニ届出其ノ指示ニ從ヒ必要ナル施設ヲ爲スヘシ

第十一條 溝渠ノ構造ハ左記各號ニ依ルヘシ  
一 公共溝渠ハ暗渠若ハ露渠トシ側面底面トモニ切石、煉瓦、陶器若ハ「セメント」漆喰叩

等不滲透質ノ材料ヲ以テ築造スヘシ但可成露渠ニハ覆蓋ヲ設クヘシ  
二 私設溝渠(庖厨浴場洗面所、井戸流場等ノ汚水廢水ノ排泄溝)ハ暗渠若ハ露渠トシ側面

底面トモ切石、煉瓦、陶器若ハ「セメント」漆喰叩木材等ヲ以テ築造スヘシ  
三 材料ニ切石煉瓦又ハ陶器等ヲ用ユルトキハ其間隙ニ「セメント」又ハ漆喰ヲ施スヘシ

四 溝渠ハ受クル所ノ汚水ノ量ト延長トニ依リ廣狹深淺ヲ定メ且勾配ヲ付スヘシ  
第十二條 汚物掃除法施行規則第八條ニ依リ市ニ於テ築造スヘキ公共便所ノ構造ハ左記各

號ニ依ルヘシ

一 便所ノ外圍ハ石又ハ煉瓦若ハ板「ベント」ヲ塗布シタルモノヲ以テ造リ適宜ノ家根ヲ設ケ入口ニハ見隠ヲ設クヘシ

二 便地ハ窓衣チ有スル陶器又ハ厚サ三寸以上ノ「セメント」若ハ漆喰叩トシ其ノ周圍ハ共ニ厚サ三寸以上ノ「セメント」又ハ漆喰ヲ施シ適宜ノ勾配ヲ付シ漏斗狀ニ構造スヘシ若シ切石又ハ煉瓦ヲ以テ築造スルトキハ其間隙ニ「セメント」又ハ漆喰ヲ施スヘシ

三 便所内ノ地盤ハ三寸以上高シ切石又ハ煉瓦若ハ「セメント」漆喰叩ト爲シ洗滌ニ便ナラシメ切石又ハ煉瓦チ用キタルトキハ其間隙ニ「セメント」又ハ漆喰ヲ施スヘシ

第十三條 私人ノ築造スル便所構造ハ左記各號ニ依ルヘシ

一 便所ハ可成飲料水ヲ隔ル五間以上ノ處ニ設クヘシ

二 便地ハ窓衣チ有スル陶器若ハ厚サ二寸以上ノ「セメント」漆喰叩トシ其ノ周圍ハ共ニ厚サ二寸以上ノ「セメント」又ハ漆喰ヲ施シ適宜ノ勾配ヲ付シ漏斗狀ニ構造スヘシ若シ切石又ハ煉瓦チ以テ築造シタルトキハ其間隙ニ「セメント」又ハ漆喰ヲ施スヘシ

劇場諸工業場諸製造所職工寄宿舎寄席觀覽所及數家共用ノ便所ノ構造ハ前條ニ準據スヘシ

第十四條 汚物掃除法施行規則第廿一條ニ依リ左ニ該當スル義務者ハ掃除シタル汚物チ市長ノ指揮ニ從ヒ處分スヘシ

一 郡村ニ接近シ人家稠密ナラサル地區

二 三千坪以上ニシテ一構チナス地域

本條ノ義務者ハ市長ノ認可ヲ受ケ地内適當ノ場所ニ汚水溜置ヲ設置スルコトヲ得  
第十五條 市長ハ前條ニ該當スヘキ地區及地域ヲ定メ知事ノ認可ヲ受ケ之ヲ指定スヘシ

第十六條 汚水溜廢芥溜ヲ設置セントスル者ハ左記名號ニ依リ築造スヘシ

一 汚水溜ハ衾衣ヲ有スル陶器、切石、煉瓦若ハ「セメント」又ハ漆喰叩トナシ相當勾配ヲ  
付シタル覆蓋ヲ設クヘシ

二 汚水溜ニ通スル排泄溝ハ第十一條第二號ニ依リ築造スヘシ

三 塵芥溜ハ側面底面トモ堅牢ナル材料ヲ以テ造リ相當勾配ヲ附シタル覆蓋ヲ設クヘシ

四 汚水溜及塵芥溜ハ飲料水ヲ距ル三間以上ノ地ニ設置スヘシ

第十七條 本則第二條第四條第六條第九條第十四條ニ違背シタル者ハ拘留又ハ料科  
ニ處ス

附 則

第十八條 公共便所ニシテ本則ニ抵觸スルモノハ三十四年三月末日迄ニ改造スヘシ

第十九條 公共溝渠ニシテ本則ニ抵觸スル者ハ六ケ年以内ニ改造スヘシ但シ改造スヘキ部

分ハ三十四年度ヨリ一ケ年度毎ニ其五分ノ一以上ノ竣工ヲ期スヘシ

第二十條 既設ノ溝渠便所等ニシテ本則ニ抵觸スルモノハ三十六年十二月末日迄ニ改造ス  
ヘシ

第二十一條 市ハ土地ノ狀況ニ依リ公共溝渠公共便所ニシテ第十一條第十二條ノ構造ニ依  
リ難キ場所ハ知事ノ認可ヲ受ケ別段ノ施設ヲ爲スコトヲ得

第二十二條 掃除監視吏員ノ携帶スル証票ハ左ノ雛形ニ依ルヘシ

三寸

三寸

三寸

表 掃除監視吏員之證

二寸

裏 公署名

公署印

二寸

○告示

○和歌山縣告示第百二十四號

愛知縣ニ於テ左ノ告示ヲ發シタル旨通知アリタリ

告示第百十五號

ベスト病豫防ノ爲明治三十年法律第三十六號傳染病豫防法第十八條ニ依リ大坂市ヲ發シ又ハ同地ヲ經テ來タル漁船船舶ノ對シ各驛各港ニ於テ五月十九日ヨリ檢疫ヲ施行ス

名古屋驛 愛知驛 大府驛 豊橋驛 熱田港 半田港

高知縣ニ於テハ大坂地方ヲ發シ又ハ該地方ヲ經テ來ル船舶ニ對シ本月十六日ヨリ左ノ諸港ニ於テ檢疫開始候旨通知アリタリ

安藝郡甲浦港 吾川郡浦戸港 幡多郡下田港大嶋港

山口縣ニ於テハ左ノ告示ヲ發シタル旨通知アリタリ

山口縣告示第五百五十九號 (明治三十三年五月十四日付)

大坂市ニ於テハスト患者發生シ蔓延ノ兆アリ該地方ヨリ來ル船舶ニ對シ傳染病豫防法第十條ニヨリ本日ヨリ左ノ諸港ニ於テ船舶檢疫ヲ施行ス

玖珂郡麻布村宇新渡港 佐波郡三田尻村三田尻港

赤間關市赤間關港 阿武郡椿東分村宇新川口港

佐賀縣ニ於テハ左ノ告示ヲ發シタル旨通知アリタリ

佐賀縣告示第五百十九號 (三十三年五月十七日付)

大坂市ニ於テハスト患者發生蔓延ノ兆アリ以テ同地方ヲ發シ又ハ同地方ヲ經テ來ル船

船ニ對シ縣下東松浦郡唐津港ニ於テ本日ヨリ檢疫ヲ施行ス

明治三十三年五月二十二日

和歌山縣知事 小 倉 久

○和歌山縣告示第五百二十五號

左記ノ道路自今公用ヲ廢止ス

明治三十三年五月廿二日

和歌山縣知事 小 倉 久

西牟婁郡新庄村字田鶴千六百番地續

→道敷電敷入歩

○和歌山縣告示第五百二十六號

左記ノ者本日頭記ノ番號ヲ以テ和歌山縣產婆名簿ニ登錄ス

明治三十三年五月二十三日

和歌山縣知事 小 倉 久

有田郡岩宮村大字栗生二百六十七番地  
和歌山縣平民

第三百七十九號

坂上 ちよ

○和歌山縣告示第百二十七號

文官又ハ軍人恩給及扶助料若クハ勳章年金受領者ハ其ノ支給期月ノ前月末日其ノ證書ヲ市ニ居住ノ者ハ市長ニ町村ニ住居ノ者ハ其ノ町村長ノ檢圖ヲ受クヘシ  
明治三十三年五月廿四日  
和歌山縣知事 小倉 久

和歌山縣告示第百二十七號參照

官吏恩給法施行規則(二十三年七月) 閣令第三號

第八條 恩給ヲ受クルモノ其ノ金額ヲ受領セリトスヤトキハ恩給證書ヲ以テ其ノ受領權アルコトヲ證明スヘシ

軍人恩給法施行規則(二十三年七月) 閣令第五號

第十二條 本則ニ於テ特別ノ規定ヲ設ケサルモノハ總テ官吏恩給法施行規則ノ例ニ依

勳章年金支給細則(二十七年十二月) 閣令第九號

第六條 年金受領者年金額ヲ受取ラントスルコトキハ年金證書ヲ當該官吏ニ示シ受領者タ

ルコトヲ證明スヘシ

○和歌山縣告示第百二十八號

左記人名ノ者死亡ニ依リ本日和歌山縣產婆名簿ノ登録ヲ取消ス

明治三十三年五月廿四日

和歌山縣知事 小倉久

日高郡和田村三千十二番地

和歌山縣平民

久保よしゑ

○和歌山縣告示第百二十九號

左記ノ者死亡ニ依リ本日和歌山縣產婆名簿ノ登録ヲ取消ス

明治三十三年五月二十六日

和歌山縣知事 小倉久

日高郡切目川村大字羽六八八十七番地

和歌山縣平民

土井おち

○和歌山縣告示第百三十號

明治三十三年六月十八日日本縣々會議員ノ補闕選舉ヲ行フ其選舉區及選舉スヘキ議員ノ員數

ハ左ノ如シ

但投票ヲ行フヘキ時限ハ午前七時ニ始メ午後二時ニ終ル

一 選舉區 東平妻郡

二 議員數 一人

明治三十三年五月廿六日

和歌山縣知事 小倉久

○和歌山縣告示第三百三十一號

三重縣ニ於テ左ノ告示ヲ發シタル旨通知アリタリ

三重縣告示第八十一號

ベスト豫防ノ爲大阪府下大阪地方ヲ發シ又ハ該地方ヲ經テ來ル船舶ニ對シ本月十七日ヨリ縣下左記ノ個所ニ於テ檢疫ヲ施行ス

四日市港

賢崎港

鳥羽港

尾鷲港

木本港

明治三十三年五月廿六日

和歌山縣知事

小倉

久

○和歌山縣告示第三百三十二號

京都府ニ於テhest病豫防ノ爲本月廿三日ヨリ伏見、淀、八幡ノ三船舶繫留所ニ於テ船舶檢疫施行ノ旨通知アリタリ

明治三十三年五月二十六日

和歌山縣知事

小倉

久

○和歌山縣告示第三百三十三號

本年三月本縣告示第七十七號蠶業講習會規則附屬蠶業講習會方法ノ末項ヘ左ノ一項ヲ加フ  
明治三十三年五月三十日

和歌山縣知事

小倉

久

一前各項ニ定メタル日數ハ時宜ニ依リ之ヲ伸縮シ又講話ノ幾分ヲ實習ノ後ニ科スルコトアルヘシ

○和歌山縣告示第三十四號

本年三月本縣告示第七十八號蠶業講習會設置期間ノ内左ノ通改正ス

明治三十三年五月三十日

和歌山縣知事

小倉久

一伊都郡妙寺村及海草郡西山東村ノ下段（自明治三十三年四月四日 至全） 年六月二日 六十日間）トアルヲ

（自明治三十三年四月四日 至全） 年六月九日 六十七日間）ト改ム

一有田郡城山村及日高郡中山路村ノ下段（自明治三十三年六月八日 至全） 年八月六日 六十日間）トアルヲ

（自明治三十三年六月十三日 至全） 年八月八日 五十七日間）ト改ム

○訓令

○和歌山縣訓令田第五十六號

郡 役 所  
市 役 所

府縣外ニ於テ府縣稅及使用料手數料夫役現品ニ代ユル金錢過料其ノ他府縣收入ノ滯納者處分ニ關シ本年四月内務省令第十六號ノ旨有之候處其滯納處分囑托方ハ島司郡長市長又ハ區長ニ相互委任候付今後其囑托ヲ要スルトキハ關係ノ島司郡長市長又ハ區長ニ直接照會スヘシ但他府縣ノ島司郡長市長又ハ區長ヨリ本文ノ照會アルトキハ其囑托ニ應スヘシ  
明治三十三年五月二十四日  
和歌山縣知事 小倉久

○和歌山縣訓令甲第五十七號

郡 役 所

市 役 所  
町 村 役 場

本年當縣告示第二百二十七號ニ係ル文官又ハ軍人恩給及扶助料若クハ勳章年金受領者ノ證書ハ左ノ手續ニ據リ檢閲シ速ニ報告スヘシ

明治三十三年五月廿四日

和歌山縣知事 小 倉 久

文武官恩給扶助料勳章年金等受領者證書檢閲手續

一 恩給及扶助料ヲ受クルモノノ恩給及扶助料證書ハ其ノ支給期月ノ前月末ニ於テ之ヲ檢閲シ本人生存セルヤ否及恩給ノ支給ヲ停止セラルヘキ事實ノ有無ヲ取調ヘ毎年一月ハ四日四月七月十月ハ一日發送當廳ヘ報告スヘシ其書式ハ別紙第一號ノ如シ

一 勳章年金ヲ受クルモノノ年金票ハ年金支給期月ノ前月末ニ於テ之ヲ檢閲シ本人現在生存セルヤ否及年金支給ヲ停止セラルヘキ事實ノ有無ヲ取調毎年六月十二月一日發送當廳ヘ報告スヘシ其書式ハ別紙第二號ノ如シ

一 報告書中支給ヲ停止セラルヘキ事實ノ有無ハ文官恩給ニアリテ二十三年法律第四十三號官吏恩給法第十二條軍人恩給ニアリテハ二十三年法律第四十五號軍人恩給法第二十五條勳章年金ニアリテハ二十七年閣令第九號勳章年金支給細則第十七條第十八條舊令ニ係ルモノハ文官ハ十七年第一號官吏恩給令第十八條第十九條軍人ハ十六年九月第三十七號陸軍恩給令第六條第七條又ハ同年同月第三十八號海軍恩給令第六條第七條ノ各項ニ當ル事故トス但該當者ナキトキハナシト記入ヘシ

一他府縣又へ他郡市町村へ移轉セシモノアルトキハ其氏名及移轉先ヲ檢閱報告ト同時ニ報告スヘシ

(書式) 第一號

文官(軍人)恩給受領者證書檢閱報告

恩給證書番號	何年	第何期分金額	支給ヲ停止セララルヘキ事實ノ有無	住	所	官	姓	名
第何號	金	何程	ナシ	何郡何村大字何々	何番地	何官	何	某
第何號	金	何程	何々事故ニヨリ停止セララルヘキモノ 認ム	何郡市何町村大字何々	何番地	孤兒	何官何某(父)(母)(寡婦)	何某

右文官(軍人)恩給證書ヲ檢閱シ現ニ本人ノ生存ヲ認ム

右報告ス

明治 年 月 日 市 町村 長 氏 名 印

知事宛

(書式) 第二號

勳章年金受領者ノ年金票檢閱報告

金票番號

何年何月渡金額

支給ヲ停止セララルヘキ事實ノ有無

住

所

勳

等

姓

名

第何號	金	何	程	ナ	シ	何郡何村大字何々 何番地又ハ何市何 町何番地	動何等	何	某
第何號	金	何	程	何々ノ事故アリ停 止セラルヘキモノ ト認ム	全	全	全	何	某

右年金票ヲ檢閲シ各本人ノ生存ヲ認ム  
右報告ス

明治 年 月 日

知事宛

市町 長 氏 名 印

○和歌山縣訓令甲第五十八號

ベスト病ハ鼠ニ深キ關係ヲ有シ其ノ驅除ハ豫防上最モ必要ナルヲ以テ客年訓令甲第六十九號訓令及置タルニ付爾來各町村ニ於テ之レカ驅除ヲ怠ラサルヘシト雖目下大阪市ニ於テ該病續々發生シ追々蔓延ノ兆有之ニ付此際鼠族ノ驅除ヲ一層獎勵シ就中停車場附近貨物陸揚場附近貨物運送店倉庫船舶等ニハ之ヲ嚴行スヘシ

和歌山縣知事 小倉久

郡 役 所  
警 察 署  
警 察 分 署  
市 役 所  
町 村 役 場

○和歌山縣訓令甲第五十九號

ベスト病豫防上弊鼠發見届出方ニ付テハ客年縣令第八十三號ヲ以テ發令シ其ノ取扱方手續  
 ハ同年告示第百六十四號ヲ以テ告示シ置タル處目下大坂市ニ於テ該病患者續々發生ニ付一  
 層嚴重ニ注意シ弊鼠ノ發見ヲ勉ムヘシ

明治三十三年五月三十日

○和歌山縣訓令甲第六十號

和歌山縣知事

小倉久

郡	役	所	町	村	役	場	市	役	所	警	察	分	署	警	察	分	署	市	役	所	町	村	役	場
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

ベスト病豫防上必要ニ付貧民部落、木賃宿、貨物集散場附近其ノ他必要ト認ムル部分ニハ  
 時々檢病的毎戸調査ヲ行ヒ疑アルトキハ醫師ヲシテ檢診セシメ豫防上遺策ナキヲ期スヘシ

明治三十三年五月卅日

○和歌山縣訓令甲第六十一號

和歌山縣知事

小倉久

郡役所

警察署

警察分署

市役所

町村役場

ベスト病豫防上急性患者死亡ノ件ニ就テハ客年訓令甲第七十七號ヲ以テ訓令致置タル處目下大坂市ニ於テ續々該病患者發生ニ付此際急性病死亡者ニ注意シ若疑ハシキモノアルトキハ該訓令ノ主旨ニ從ヒ不都合無之様取計フヘシ

明治三十三年五月卅日

和歌山縣知事

小倉久

正 誤

本年四月和歌山縣訓令甲第四十三號中第六十八條ノ下「第一項」ノ三字ヲ脱ス  
明治三十三年五月二十四日

和歌山縣